





















人工股関節全置換術の手術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付	入院から手術前々日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目
治療	 医師の診察があります  心臓血管外科に診察してもらいます	 ひげがある方は剃っていただきます  採血があります	 術衣に着替え、午前中から点滴を病棟で行います。手術が1番目の方は手術室で点滴を行います。	 手術後から翌朝まで点滴を行います ※自己血または輸血をします 手術当日～術後2日目までに実施します。	 朝と夕に抗生剤の点滴を術後2日目まで続けます 必要に応じてガーゼの交換を行います ※血液の管は抜けません	 抗生剤終了 必要に応じてガーゼの交換を行います 排泄の量により血液の管が抜けます
処置	 お薬とお薬手帳をお持ち下さい	※手術までに用意して頂くもの  ①浴衣または前開きの寝巻  ②ストロー付きのコップ(コップとストロー)  ③バスタオル  ④フェイスタオル  ⑤ティッシュペーパー ①③④はレンタル病衣で対応できます	必要時手術部位の除毛を行います ※あると便利です ・柄つきブラシ ・マジックハンド 	※自己血または輸血をします 手術当日～術後2日目までに実施します。 ポイント 三角枕を足の間に挟みます。横向きになる際はクッションを足の間に挟みます。術後～術後3日目まで 	  	  
検査	 身長と体重を測ります 1ヶ月以上撮影していない時はエックス線撮影をします			手術室でX線・採血を行います 	鎮痛剤・胃薬を飲み始めます(1週間)	
活動	 病院内でお過ごしください 外出には医師の許可が必要です		 病棟内でお過ごしください	 90度まで身体を起こせます。介助で向きを変えられます	 車椅子に乗れます。手術した足に体重をかけられます。	
	 手術前のリハビリを行います		お休み		 ベッドサイドまたは病棟にリハビリのスタッフが来ます	 状態により訓練室でリハビリを行います
食事	 制限はありません		 絶飲食 水分は指示された時間まで飲むことができます	 飲水・食事は許可があるまでお待ちください	 食事開始 食事形態は食事摂取の状況で変更していきます	
清潔	 入浴できます		 手術前までは可能です	 蒸しタオルで体を拭きます		 血液の管が抜けて熱がなければ翌日からシャワー浴が可能です
排泄	 トイレをお使い下さい			 尿管が入ってきます 差し込み便器で排便となります	 歩行・車椅子乗車可能ならトイレで排泄できます	
説明・指導	 医師より手術の説明があります 看護師より入院生活について説明	 麻酔科医・手術室看護師が説明にきます		 手術後、医師から家族に説明があります	 抗凝固剤を内服または注射で投与します	 血液データで抗凝固剤の薬を増減していくため、心臓血管外科は定期的に診察してもらいます
その他	 リハビリ転院などの希望の方は主治医へご相談下さい	 手術同意書をお出してください	弾性ストッキングを着用していただきます	 術後3日目まで夜間のみポンプを足につけます	 	 

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたらお尋ねください。
 作成日: 2013年7月13日
 改訂日: 2015年4月20日

人工股関節全置換術の手術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付経過	術後3日目	術後5日目	術後7日目	術後8～14日目	術後15日目～
治療	 必要に応じてガーゼの交換を行います  排液量に関わらず血液の管が抜けます	→	 傷のチェックをします ガーゼやテープを貼ります	傷に問題なければテープを剥がします	 退院が可能となります
処置	三角枕を足の間に挟みます。 横向きになる際はクッションを足の間に挟みます。 術後3日目まで	→	  X線・採血を週1回行います	→	→
検査	 術後より鎮痛剤・胃薬を飲み始めています(1週間)	→	→	→	→
活動	 車椅子に乗れます。手術した足に体重をかけられます。	 リハビリの状況次第で歩行は可能になります	→	→	→
	 状態により訓練室でリハビリを行います	 回復に合わせてリハビリを進めていきます	 リハビリは患者様の回復に合わせて拡大していきます	 階段昇降など退院後の生活に合わせた練習をします	→
食事	 食事 食事形態は食事摂取の状況で変更していきます	→	→	→	退院日の食事は朝までです
清潔	 血液の管が抜けて熱がなければシャワー浴が可能です	→	→	→	→
排泄	 歩行・車椅子乗車可能ならトイレで排泄できます	→	→	→	→
説明・指導	  抗凝固剤を内服または注射で投与します	→	→	→	 退院後の生活について説明します
その他	弾性ストッキングを着用していただきます 術後3日目まで夜間のみポンプを足につけます	→	→	→	 退院までにお会計をしていただきます

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

作成日: 2013年7月13日

改訂日: 2015年4月20日

横浜南共済病院